

事業提案要約

(1) 提案課題名 (日本語)	モンゴルにおける家畜原虫病の疫学調査と社会実装可能な診断法の開発
(英語)	Epidemiological studies on animal protozoan diseases in Mongolia and development of effective diagnostics measures.
(2) 期間 (JST, AMED 側)	2013年4月1日～2019年3月31日 (条件付き採択期間含む)
(JICA 側)	2014年6月1日～2019年5月31日
(3) 研究代表者所属名	国立大学法人帯広畜産大学 原虫病研究センター 節足動物衛生工学分野
(4) 相手国名	モンゴル国
(5) 相手国研究機関名	モンゴル生命科学大学獣医学研究所 (旧モンゴル国立農業大学) Institute of Veterinary Medicine, Mongolian University of Life Sciences (Old: Mongolian State University of Agriculture)
(6) 研究課題の目的	本課題では原虫病及び媒介ダニの特異診断・分類技術を用いてモンゴルにおけるトリパノソーマ病、ピロプラズマ病および媒介ダニの大規模疫学調査を実施し、その分布と被害の実態を明らかにする。加えて、疫学調査で得られた感染材料から原虫野外株を樹立し、原虫野外株由来材料を活用してモンゴルで社会実装可能な原虫病簡易迅速診断法を開発して普及し、同国の家畜原虫病対策に貢献することを目的とする。
(7) 研究課題の概要	多くの家畜原虫病は持続感染して慢性的に家畜の健康状態を悪化させる。本課題では、我々が確立してきたトリパノソーマ病とピロプラズマ病の診断法を用いて大規模な疫学調査を実施し、モンゴル野生原虫株由来遺伝子および蛋白質試料を用いた簡易迅速診断試法を開発して社会実装、普及する。加えて本共同研究を通じたモンゴル人専門家育成を行い、成果に継続性と発展性を与え、原虫病早期発見体制を整備することで、同国の家畜原虫病対策と畜産振興に貢献する。
(8) 共同研究の役割分担	(日本側)原虫培養系確立、抗原遺伝子解析、簡易診断法開発 (相手国側)原虫の分離・保存、診断法の自然感染宿主を用いた評価、疫学調査の実施と結果解析

実施体制概念図

